



## 上手に栽培するポイント

- 育苗は雨よけハウス内で行います。パイプとコンクリートブロックを利用して棚をつくり、その上にセルトレイを乗せて育苗します。
- 育苗時のかん水は早朝1回を基本とし、ガッチリとした苗に仕上げます。
- 定植時にほ場が乾燥している場合は、植え穴にたっぷりかん水してから定植し、定植後3～7日間は、かん水を実施して活着を促します。
- 定植から約2週間後に追肥します。同時に中耕・土寄せを行うと雑草の発生が抑えられ、倒伏しにくくなります。
- 秋雨期の病害対策、害虫対策のため、出蕾前の定期防除を実施します。
- 日光による花らいの変色（黄化）を防ぐため、花らいが見え始めたら外葉を2枚程度折り曲げて花らいを覆います。
- 収穫が遅れると品質が低下します。ほ場をこまめに見回り適期に収穫しましょう。

## 導入上の留意点

- キャベツより根が弱く湿害にも弱いので排水不良の粘質地や滞水するところでは生育不良になります。水田転換畑では、周囲明きよを設置し排水対策を行いましょう。
- 規格をそろえるためには、10a程度の面積を栽培する必要があります。
- 3,500株/10aを目安に作付けしましょう。